報道関係各位

新聞協会加盟有志社によるファクトチェックについて

２０２５年6月4日

佐賀新聞社、時事通信社

日本テレビ放送網、読売新聞社

日本新聞協会に加盟する佐賀新聞社、時事通信社、日本テレビ放送網、読売新聞社の有志４社は、ＳＮＳなどインターネット上に流れている選挙に関する情報を対象に、共同でファクトチェックを実施します。真偽を検証した結果は各社の媒体で報じます。複数の報道機関が協力してファクトチェックに取り組むことで、検証作業の公正性や信頼性を高め、より広く結果が伝わることを目指します。東京都議選（６月 13 日告示、22 日投開票）からはじめます。

■対象とする選挙

- 国政選および地方自治体の首長選・議員選。自治体の選挙は各社協議のうえ対象を選定します。

■検証作業

- ＳＮＳなどインターネット上に流れている選挙に関する情報の中から、各社協議のうえ検証対象とする情報を決定します。テキストのほか動画や画像も含めます。
- 検証作業は選挙期間中に限りません。状況に応じて選挙期間の前後でも実施します。
- 作業にあたっては、日本ファクトチェックセンター（ＪＦＣ）のアドバイスを受けます。ＪＦＣは一般社団法人セーファーインターネット協会によって 2022 年に設立され、選挙に限らず幅広い分野でファクトチェックの実績を重ねています。

■判定と結果の公表

- ファクトチェックの結果は、「正確」「ほぼ正確」「根拠不明」「不正確」「誤り」の５つのいずれかに評価（レーティング）したうえで、根拠を明記して各社の媒体（新聞、テレビ番組、ニュースサイト、ＳＮＳ等）で公表します。
- レーティングはＪＦＣのファクトチェックガイドラインに準拠します。判定基準は次のとおりです。

正確	誤りが無く、重要な要素が欠けていない。
ほぼ正確	一部に誤りを含んでいるが、重要な部分を含む大部分は正しく、概ね正確な言説である。
根拠不明	根拠がないか不十分であり、事実の検証ができない。
不正確	一部は正しいが、重要な部分に誤りや欠落がある、またはミスリード。
誤り	誤りである、または重要な要素が大きく欠けている。